

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.4, 1994.2 : (1)-(4)
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3398
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

〔著者紹介〕

(掲載順)

大木英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ、1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。現在、東京神学大学教授。学校法人聖学院理事長。

〔著書〕『ビューリタニズムの倫理思想』『ビューリタン——近代化の精神構造』『終末論の考察』『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』『キリスト入門』『歴史神学と社会倫理』『偶然性と宗教』『人類の知的遺産・バルト』『日本の神学』（共著）『主の祈り』『新しい共同体の倫理学』など。

高橋義文 たかはし・よしぶみ

1943年東京に生まれる。日本三育学院神学科，ローマリンダ大学神学科卒業。アンドリュース大学大学院修士課程終了。東京神学大学大学院博士課程終了。神学博士（東京神学大学）。現在，三育学院短期大学教授。

〔著書〕『キリスト教を理解する』『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』『神を仰ぎ，人に仕う』（共著）ほか。訳書にW・パネンベルク『キリスト教社会倫理』（共訳）など。

佐藤敏夫 さとう・としお

1923年，山形県に生まる。慶応大学哲学科中退，1951年，日本基督教神学専門学校（現東神大）卒業，ユニオン神学大学（S. T. M.），ハートフォード神学大学（Ph. D.）に留学，現在，東京神学大学名誉教授。

〔著書〕『近代の神学』（1964年），『キリスト教と近代文化』，『日本のキリスト教と神学』，『プロテスタンティズムと現代』，『忍耐について』，『宗教の喪失と回復』『高倉徳太郎とその時代』『神と世界の回復』『救済の神学』『レジャーの神学』『時間に追われる人間』『永遠帰郷の神話と終末論』『キリスト教神学概論』近刊，他。

近藤勝彦 こんどう・かつひこ

1943年生まれ。東京大学文学部哲学科卒業の後，東京神学大学大学院修士課程修了。チュービンゲン大学神学部に留学。1977年「トレルチの形成の神学」で

神学博士号を取得。現在、東京神学大学教授（組織神学）、聖学院大学特任教授（キリスト教社会倫理）。

〔著書〕著書として、『現代神学との対話』『礼拝と教会形成の神学』『教会と伝道のために』『中断される人生』『歴史の神学の行方』『人類・文明の救済とキリスト教』（共編著）ほか。訳書としてE・トレルチ『歴史主義とその諸問題』ほか。

武田清子 たけだ・きよこ

国際基督教大学名誉教授，思想史専攻。1917年生まれ，神戸女学院大学，オリヴェット大学，コロンビア大学，ユニオン神学校に学び，R・ニーバー，P・ティリッヒに師事。「近代日本におけるキリスト教の受容と人間形成の問題」により東京大学より文学博士。1961年より国際基督教大学教授。同大学教養学部長，大学院部長，アジア文化研究所所長など歴任。元世界教会協議会（WCC）会長。

〔著書〕『人間・社会・歴史——ニーバーの人と思想』『人間観の相剋』『土着と背教』『正統と異端のあいだ』『天皇観の相剋』『日本リベラリズムの稜線』『わたしたちと世界』ほか。編著に『日本文化のかくれた形』など，訳書にR・ニーバー『光の子と闇の子』ほか。

鈴木有郷 すずき・ゆうこう

Duke University 卒業，Union Theological Seminary（ヴァージニア）修士課程および博士課程修了。神学博士。専攻分野，神学，キリスト教倫理。現在，恵泉女学園大学教授。アメリカ思想（宗教と社会）担当。

〔著書〕『ラインホルド・ニーバーの人間観』『アブラハム・リンカンの生涯と信仰』ほか。

平田忠輔 ひらた・ただすけ

現在，山梨県立女子短期大学助教授。

〔著書〕『現代アメリカと政治的知識人：ラインホルド・ニーバーの政治論』ほか。論文に「『善隣政策』の一考察」「アメリカとラインホルド・ニーバーの皮肉」「リベラル・パラダイム」の転換に向けて（1）——伝統的保守主義者，ラッセル・カーク——」「リベラル・パラダイム」の転換に向けて（2）——ジョン・デューイの Public 観念——」など。

千葉 眞 ちば・しん

国際基督教大学社会科学科準教授，政治思想 専攻。(1994年8月までアメリカ合衆国アーマスト大学客員教授として在米)

〔著書〕『現代プロテスタンティズムの政治思想——ニューバーとモルトマンの比較研究』訳書にアーヴィング・ハウ編『世紀末の診断』ほか。

佐々木毅 ささき・たけし

東京大学大学院法学政治学研究科教授，及び東京大学法学部教授。政治学史専攻。

〔著書〕『マキアヴェッリの政治思想』『主権・抵抗権・寛容』『プラトンと政治』『現代アメリカの保守主義』『西欧政治思想の誕生』『アメリカの保守とリベラル』『いま政治になにが可能か』『マキアヴェッリ』など。

田中 浩 たなか・ひろし

1938年，神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部・同大学院博士課程修了。経済学博士。理論経済学特に公共経済学専攻。現在，慶應義塾大学法学部教授。

〔著書〕近刊『国家の解剖学（アナトミー）』（共著）ほか。

根岸 毅 ねぎし・たけし

現在，慶應義塾大学法学部教授（報告時点では慶應義塾大学新聞研究所所長を兼任）。

〔著書〕今回の報告に関連しては『政治学と国家』，近刊『国家の解剖学（アナトミー）』（共著），論文としては「工学に欠けるもの，政治学に欠けるもの」「民主主義の価値の論証」などがある。

島田信吾 しまだ・しんご

1957年大阪生まれ。1988年ドイツ・ミュンスター大学哲学部言語学科修士課程修了。1991年エアランゲン大学哲学部社会学科で哲学博士号を取得。現在，エアランゲン大学社会科学センター専任研究員。1993年10月より，フォルクスワーゲン財団の援助で「日本社会における生活時間」についての研究プロジェクトを開始する。

〔著書〕Grenzgänge-Fremdgänge. Zeit, Raum, Körper im Kulturvergleich. (境界を越えて——時間・空間・身体の比較文化) (近刊)

アンドレアス・ファイゲ Andreas Feige

1942年生まれ。1975年ゲッティンゲン大学の Dr. disc. pol., 1989/90年同大学で教授資格を取得。社会学と宗教社会学専攻。ブラウンシュヴァイク工業大学社会学部教授。

〔著書〕Kirchenaustritte. Eine Untersuchung von Ursachen und Bedingungen (博士論文), Kirchenmitgliedschaft in der Bundesrepublik. Zentrale Perspektiven empirischer Forschungsarbeiten im problemgeschichtlichen Kontext der deutschen Religions- und Kirchensoziologie nach 1945 (教授資格論文) 他多数。近刊の論文に “Zwischen großkirchlich gesonnener Religionspflicht und autonom-individuellem Religiositätsgefühl: Auf dem Weg zur postmodernen Religion?” がある。

土方 透 ひじかた・とおる

1956年生れ。1981年中央大学法学部法律科卒業。1987年中央大学大学院文学研究科博士後課程単位取得退学。現在、聖学院大学政治経済学部助教授。

〔著書〕『ルーマン——来るべき知』(編著) N.ルーマン『法システムと法解釈学』, 同『信頼』(共訳), 同『法と社会システム』, 同『社会システムのメタ理論』, 同『社会システムと時間論』, 同『システム理論のパラダイム転換』(以上、部分訳)

速水 優 はやみ・まさる

大正14年3月神戸に生まれる。昭和22年東京商科大学(現一橋大学)卒業後、日本銀行に入行。ロンドン、ニューヨーク駐在を経験後、50年4月外国局長、51年12月名古屋支店長、53年2月理事に就任。56年5月日商岩井株式会社。59年6月社長に就任。平成2年6月会長、現在にいたる。また平成3年4月から経済同友会代表幹事。

その他役職：東京女子大学理事長

物価安定政策会議委員

産業構造審議会委員

航空審議会委員長

〔著書〕『変動相場制10年——海図なき航海』